

2023年、今年を「観光V字回復の年」に

出席者(順不同)

遠藤 直人氏
松本 光男氏
宮寄 正雄氏
加藤 晃太氏
濱田 賢氏
山口 高澄氏

(山形県小野川温泉) 登府屋旅館社長
(群馬県伊香保温泉) 松本楼社長
(群馬県草津温泉) つつじ亭社長
(静岡県稲取温泉) ホテル銀水荘社長
(富山県宇奈月温泉) 延楽専務
(福井県あわら温泉) グランドアパルホテル常務
司会 川本編集長・森田淳

コロナは飛躍への契機



松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

ある。月に一回のマネジメント会議を5人で行うが、企業は人なり」をこれまで以上に力を入れていく。濱田 文化を発信し、サードなどの研修もしているが、人ビに落とすことは旅館の価値観を皆が認める環境を作りたい。これは、今後には将来を見据えて減らした部屋をどう活用するかに着目している。コロナ前は、黒部峡谷の黒部川を望める露天風呂付き客室が4部屋あったが、以前は稼り組むべきであり、年収も初任給で500万円をもらえない。インバウンドやバリエーションを今あるハード、フリーも考える必要があるが、人とも向き合い、価値観がら、どう利益を高めたいか、家の紹介や地域に関連した文化企画を提供していく。旅館



登府屋旅館
代表取締役社長
遠藤 直人氏

念、志として「銀水ブランド」を作った。大型旅館では取り入れたい。これからは、3月までに、温泉を入れること、30年間にわたる旅館の歴史を、アウターブランディングとインナーブランディングの二つがある。アウターブランディングは、お客さまに対して何を訴求するか、これは内部的に何を提供するか。それを、社長の仕事である。社長は、社員に、変化する価値への対応、自分にも言い聞かせている。SDGsも、

昨日を否定し新価値対応 和の美がクールな旅館に 原点回帰で強い旅館作る

加藤 晃太氏

山口 高澄氏



観光立国の実現は、地方(地域)から
観光 経済 新聞
2023年にむかえる飛躍を誓う6氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏

挑戦と創造で独自価値を コロナ禍も打つ手は無限 手法変えても変わらない

松本 光男氏
松本楼
代表取締役社長
松本 光男氏



つつじ亭
代表取締役社長
宮寄 正雄氏

宮寄 正雄氏
つつじ亭
代表取締役社長
宮寄 正雄氏